

予算・財務委員会

尼崎クラブ

予算・財務委員長 山田昭乃

尼崎クラブ第23期予算・財務委員会について予算案作成にあたり、過去2年間の予算額、決算額を参考に検討し各委員会から要望と役員会の意向を考慮して作成した。

会員が少なく活動に制約を受けるが、第23期はプログラムを重視した予算をたてた。

プログラムは11月特別例会、4月野外例会、5月講師を招聘した通常例会、6月講師を招聘した就任式などクラブの活性化につながるために、プログラム・教育委員会からの増額要請により補正予算案をたて2月例会で採択された。

今期は補正予算を超えたプログラム・教育委員会の活動内容である。クラブの活性化に良い結果を生み出したと思う。

しらさぎクラブ

第19期 予算・財務委員長 久原道子

しらさぎクラブでは来期20周年を迎えます。今期は特別委員会「20周年実行委員会」を立ち上げ、記念例会の準備に入る旨、会長からの申し出があり、費目に特別委員会活動費「20周年実行委員会」を追加致しました。又、メンバー退会による収入減という事態がありました。予算作成するために前もって役員、各常任委員会に向け、予算額(案)を提示、各委員会の活動に支障がないかを確認した上で予算を作成しました。会長メールにて補足説明を添付し、メンバーに配布しました。

1月例会では後期活動による補正予算の提出の要請をしましたがどの委員会からも申し出はありませんでした。後期においても予算内で収まるよう可能な限り無駄を省き活動して頂くようお願いし、目下予算内で進行中です。

予算は予定通りにいかない事もあり、予算を作成するにあたっては大変苦労いたしますが補正予算の提出を受ける事も無く、メンバーが活発に活動している現状に安堵しております。

クリスタル神戸クラブ

予算・財務委員会 岡本 淳子

各役員、各委員会が 予算内で活発に活動できるように 予算をたてました。補正予算を組む必要もなく、予算内で収まるようです。

今期、特別委員会活動費に、出所を明らかにするために、世界大会協力金の科目を加えました。

教育委員会

関西クラブ

プログラム・教育委員会 佐藤良子

1. 活動方針

会員数の減少に伴い、教育担当者にあまり負担の無い教育を行うようにした。今期関西クラブは入会3年未満の会員が複数在籍しているため、新入会員を対象にして教育を行うことにし、併せて現会員も再認識をしてもらうための教育を目的にした。

2. 活動内容

毎月の教育では「マスターマニュアルを読む」を取り上げた。

3. 特にアピールしたいこと

特に新入会員にITCを理解してもらうための、身近のクラブについての教育を「マスターマニュアル」の中から選んで読み上げた。

実際に行うプログラムの説明を前段階の教育で取り上げて解説し、新入会員にも参加を呼びかけた。

4. 今期のおすすめ

司会業と言う職業を持った二人の新入会員にITCと一味違う目線で「話し方講座」と言うタイトルでスピーチを2ヶ月にわたって行った。

5. 工夫していること

特になし。

芦屋クラブ

会長 中島 由美子

今期の芦屋クラブは少人数ですので全会員が教育委員として参加し、前月に次月の教育を行い、内容を把握して充実した例会プログラムが行われたと自負しております。

このうちの3点を芦屋クラブからの教育資料としてご報告いたします。

お役に立てば幸いです。

芦屋クラブからご報告いただいた資料はトピックスに掲載しています。

どうぞ ご参考、ご活用下さい

HP 特別委員会